

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 つくし園

公表日 令和 7年 2月 1日

Table with 6 columns: No., Check Item, Yes, No, Points for Improvement, Issues/Points for Improvement. Rows are categorized into Environment/Regulation (環境・体制整備), Business Improvement (業務改善), and Appropriate Support (適切な支援).

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14			・その日のうちにできないこともあるが、前後には必ず打ち合わせや振り返りなどを行うようになっている ・その日の活動内容のやり方や役割分担がわからない時は必ずその日のリーダーの先生に確認している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14			・上手くいったことや難しかったことなど共有している ・その日のうちにできないこともあるが、前後には必ず打ち合わせや振り返りなどを行うようになっている ・当番でその日にできないこともあるが、改善点があれば共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	1		法人内の児童発達支援事業所と連携し、幼稚園、保育園等への訪問を強化し、また独自事業を展開し、どの子、どの保護者にも受け入れやすい療育の入り口を提供できるように事業展開をしている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	14			・わからない ・定期的に作業療法士さんに来ていただいています 近隣の医療型児童発達支援センターから作業療法士を月1回派遣してもらっている。外部研修には常勤職員、最低年1回は参加している。療育スキル向上を聞かね、一定の決まったプログラムに参加している。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	1		・わからない 高崎市は協議会のこども部会は存在しないため参加できない。子ども・子育て会議はそんざいしているが、参加の要請を受けたことがないので分からない。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14			・気になること等に電話にて確認を行います ・あづま交流
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13			・気になること等に電話にて確認を行います
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1		・つくし体験など つくし園での療育の様子に参加していただく、つくし体験、個別療育の見学を実施しており、令和6年度からは土曜日にクラス単位で保護者ミーティングを開催している。生活上の工夫についての気づき、園児の特性について、共有し理解を進めていただけるような支援につなげたいと考えている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		・面談、土曜療育など	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	3	・保護者の関わりはあると思うが兄弟の関わりは少ないように思う	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・地域住民を招待していないのでわからない	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	1	・発作時の対応をマニュアル化している	入園前に、服薬、予防接種、てんかん、熱性けいれんなどの状況、情報は保護者から確認、把握している。必要に応じて情報の更新、確認を行っている。それについて、会議で共有できるようにしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		・月2回の会議で発表や対応策を確認できていると思う ・わからない	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		・定期的に委員会が開かれている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14		・月に1回のケース会議でも必要かどうか検討している		